決算説明会資料

「中計2026」

26年度緊急対応について

２０２５年１１月１９日

芝浦機械株式会社

Shibaura Machine

中計2026
2024年度～2026年度

＜本編中の用語注釈＞
射出　：射出成形機　(成形機セグメント)
ﾀﾞｲｶｽﾄ：ダイカストマシン　(成形機セグメント)
押出　：押出成形機　(成形機セグメント)
工作　：大型の工作機械　(工作機械セグメント)
精密　：超精密加工機　(工作機械セグメント)
制御　：制御機械セグメント

※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

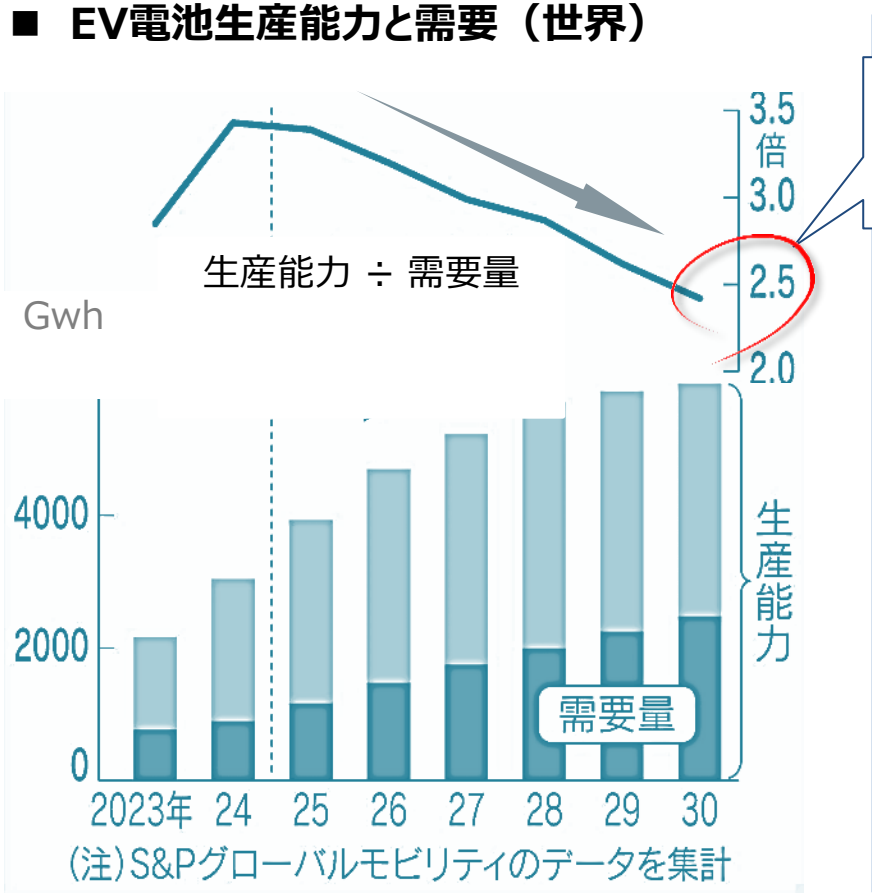
1 前提条件の変化

Shibaura Machine

取り巻く概況①（EV電池の需要鈍化）

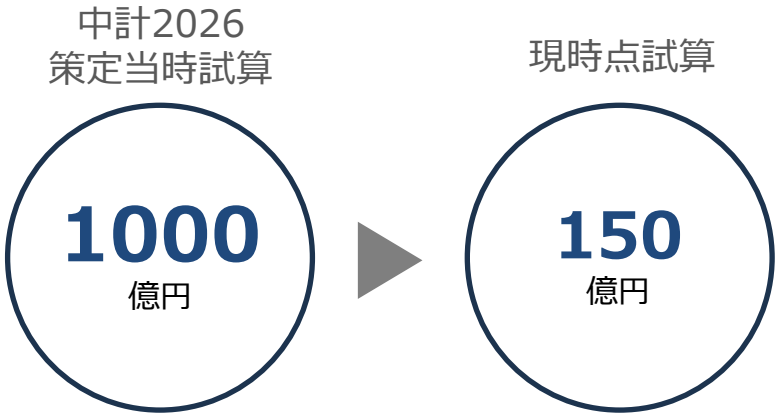
Shibaura Machine

■ **EV電池生産能力と需要（世界）**



2030年 時点
電池需要に対する
生産能力：**2.4倍**

2026年度の押出の想定売上規模



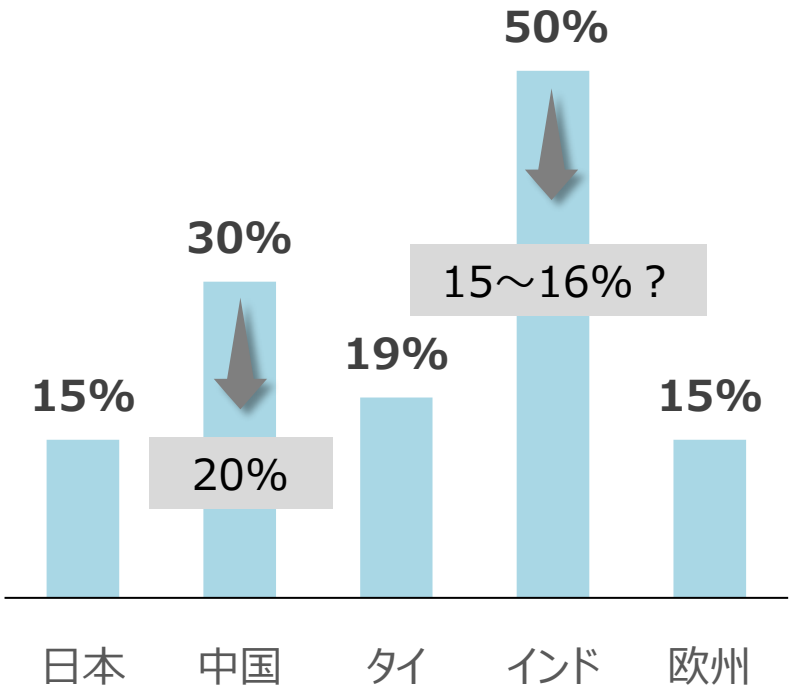
EV電池の生産能力過剰感が今後も続く

当初計画の**押出のみで1000億円売上**の達成が**困難**な状況

取り巻く概況②（米国関税）

Shibaura Machine

■ **当社工場（欧州の買収予定含む）の所在国からの対米国関税率**



輸出製品に使われている
鉄鋼・アルミの材料価格
に対して**追加関税50%**

対象：約400品目

当社商品の売価　＋２～３% のインパクト

成形機、工作機械の**価格競争力減退**

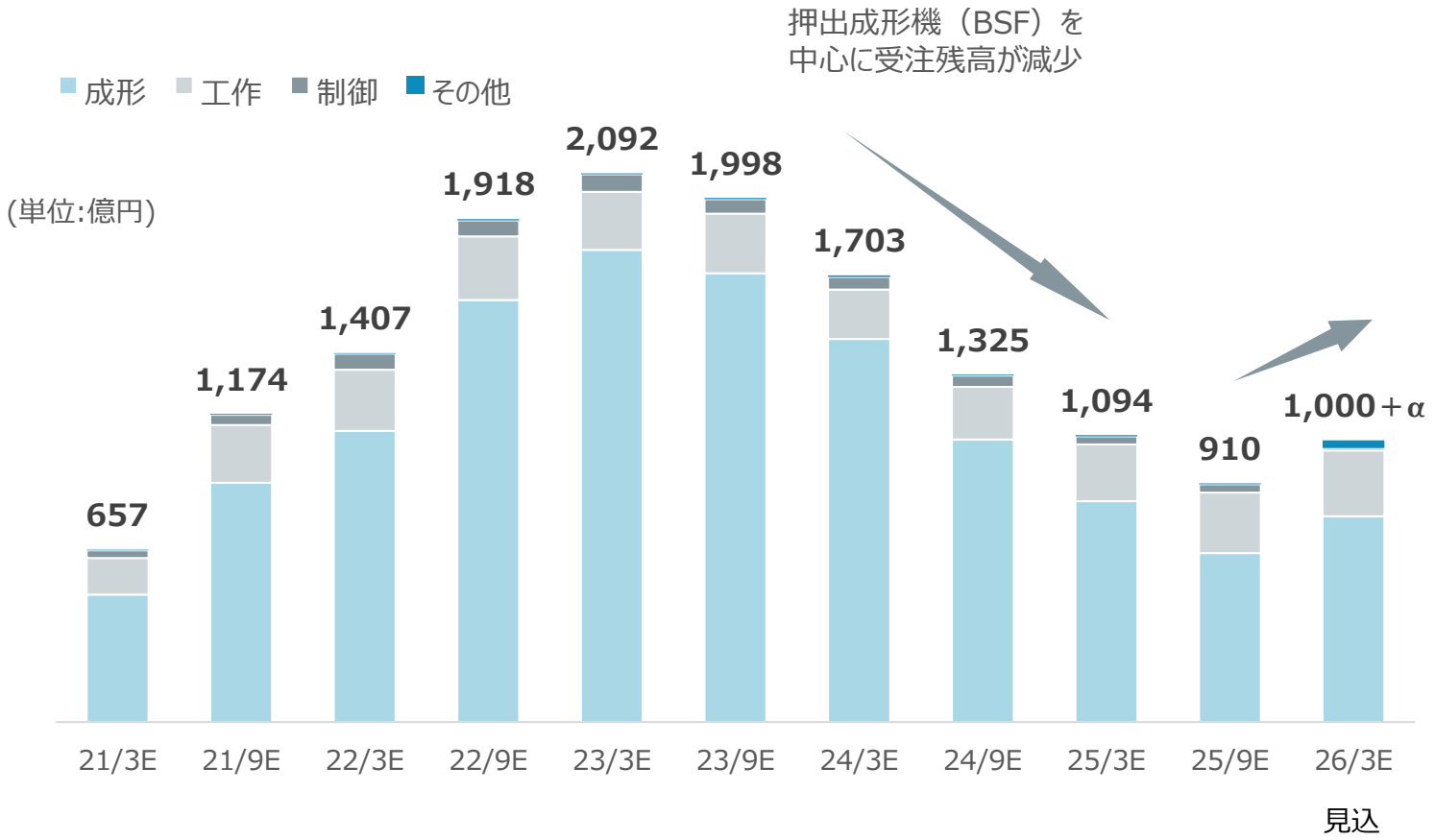
相互関税は確定したものの、**追加関税率および実行時期が未確定**で、
ユーザーの設備投資の様子見が継続

特に**射出・ダイカスト**にて大きな**マイナス影響**を受けている

受注残高の推移

Shibaura Machine

■ セグメント別受注残高



不安定な市況とEV販売停滞により、受注残高がピークの半分まで減少

２５年度９月末を底に回復基調

「中計2026」の振り返り（現時点）

Shibaura Machine

戦略・施策	2025年9月末までの進捗状況
射出グローバル体制強化	• インド第２工場稼働、増産中 • 小型射出成形機をOEM生産中（中国） • 欧州市場開拓を目的に、LWB の買収に向け 株式譲渡契約締結
システムエンジニアリングの強化	• テクノリンク、ファンクショナル・フルイッドの買収
サービス事業強化	• 工作機械と海外現法のサービスを芝浦機械エンジニアリング㈱に統合、統制開始
生産・作業効率	• ERP：　システムベンダー決定 • 工場再編：　押出テクニカルセンターの建屋建設着手
ブランディング	• TVCM放送（学生入社希望者＋20%増）
研究開発	• 超大型ダイカストマシン（受注済）の開発 • 次世代電池対応装置を開発中

- 「中計2026」の**戦略・施策は**、EVシフト鈍化・米国関税によって、**26年度での効果発現が困難**となった。（**発現時期の後ろズレ**）
- 米国関税問題が収束し、EVシフトが再び動き出せば、**施策効果が発現**するものと想定
- したがって、**「中計2026」**で遂行中の**戦略・施策**は**今後も継続実行**

中計2026
2024年度～2026年度

2 26年度緊急対応について

Shibaura Machine

26年度緊急対応の策定

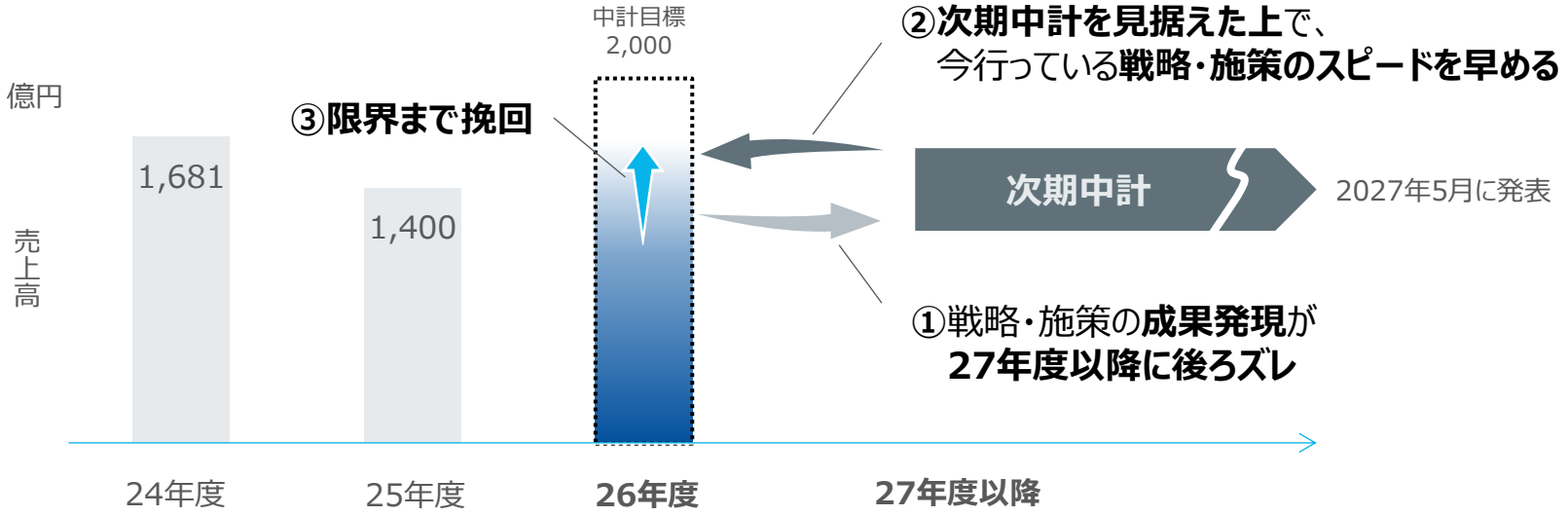
Shibaura Machine

中計2026

定量目標 2026年度目標値 連結ベース	売上高 2,000億円	営業利益率 10.0%	ROE 9.5% 以上

（参考）ROIC 9.0% 以上

- 「中計2026」は事業環境の大幅な変化により、**26年度の目標は未達**となる見込
  26年度の業績予想は26年5月に改めて公表予定
- 次期中計は27年5月に公表予定
- 次期中計に向け、**26年度緊急対応を策定・推進**し26年度業績にも寄与するよう施策を推進



26年度緊急対応の戦略・施策

次期中計に向けた26年度緊急対応は、「中計2026」で推進している**戦略・施策をベース**に、26年度業績にも寄与させるべく、**実行スピード・刈り取り時期を早める**

- 徹底的な**経費節減・効率化**による**利益創出** … A
- **期内受注売上**の**獲得** … B
- **次期中計の布石**として進める施策のうち、**26年度に効果刈り取りの前倒し** … C

※26年度緊急対応の主要施策

		26年度に寄与する規模感 (億円)
B	米国関税の収束（全体）	**+100～150**
B	欧州市場開拓（射出）	**+80～100**
B	インド市場　シェア拡大（射出・工作）	**+30～50**
B	北米市場開拓（精密）	**～+5**
B	大型特殊機の受注・生産（工作）	**+30～50**
C	次世代BSFの受注（押出）	**+100～150**
A C	東アジア・東南アジアのグローバル体制再編（射出）	**効率化**

＋ M&A

欧州市場の開拓

射出

Shibaura Machine

販 路

- 欧州における**ブランド力**
- 欧州**ユーザー情報**
- **欧州販売ネットワーク**

営業・サービス
35名

欧州ユーザーに紹介

◆ **欧州販路拡大**

技 術

- **エンジニアリング**力
- **自動化**能力
- 共同機の開発

◆ **システム案件拡販**

Shibaura Machine

- **射出成形機**
- **熱可塑性樹脂**知識
- 豊富な**製品群**と**製造スキル**
- インドの**調達網**(低コスト)
- 半製品・モジュール(低コスト)
- **製造技術**

製 造

- 調達網の**グローバル化**
- グループ内の生産リソース活用

◆ **LWB商品の原価低減、利益率向上**

LWB: LWB Steinl GmbH

期内受注売上の獲得②

インド市場のシェア拡大

Shibaura Machine

射出成形機　射出

第２工場 量産化

- ドメイン：　自動車、医療、容器、雑貨、家電、文具
- 注力機種：小型電動機、中大型油圧機

- 油圧～電動まで**フルライン機種**戦略
- **品質・サービス**面の差別化戦略
- 電動機による**エネルギーコスト削減効果**の訴求
- **テクニカルセンター**運営開始による**販売強化**

2028年度　販売目標　**2800台**

工作機械　工作

インド市場開拓

- ドメイン：　エネルギー（オイルガス、風力）、建機、産業機械、運搬機械
- 注力機種：横中ぐり盤、立旋盤

- **インド市場からの受注拡大**
- **BIS*認証取得**
- **インド現地法人の組織強化**
  - 営業技術とサービス人員の補強、教育中
- **代理店の再整備**
- **インド工場テクニカルセンターにデモ機設置**

＊BIS:インド標準規格局

北米市場（自動車光学、医療）の開拓

精密

Shibaura Machine

■市場の特定

市場	市場全体規模	市場伸び ＝販売機会	攻めるポイント
自動車光学	Tier1 10社 Tier2 20社	**6 – 9** (台/年)	自動車メーカを起点に Tier1、Tier2を攻略
医療部品	対象 200社 販売 100台/年	**10 – 15** (台/年)	商社との連携

■組織の整備

営業＋営業技術＋サービス
2029年度までに既存人員体制の3倍

■テクニカルセンターの整備（SMA*内）

完成イメージ

北米対応機種の商品化*と受注獲得に注力

＊SMA: SHIBAURA MACHINE COMPANY, AMERICA
＊初号機の上市：25Q4中

大型・特殊工作機械の受注・生産拡大

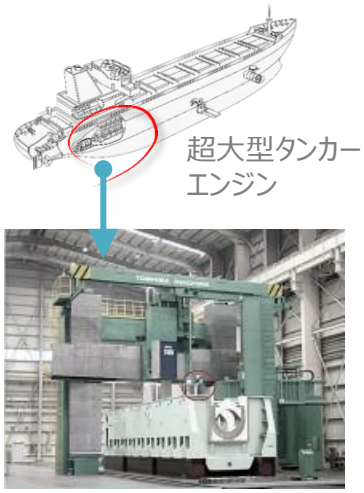
工作

Shibaura Machine

受注環境はおおむね良好

	タービン	石油 エネルギー	マイニング	風力 発電	航空・ 宇宙	造船	自動車	一般 産業
米　国	↗	→	↗	—	↗	—	↘	—
日　本	↗	—	↘	—	↗	↗	↘	—
中　国	—	—	—	↗	—	—	↘	→

- 北米：　**航空宇宙、エネルギー、マイニング**に集中
- 日本：　**造船**（次世代燃料船への切替による**リプレース需要増**）、航空宇宙向け**大型・特殊機**に集中
- 日本：　防衛予算の大幅増額に伴う**国内防衛産業**に対し、大型・特殊機の**レトロフィット、サービス**強化



前倒生産で受注・売上拡大を図る

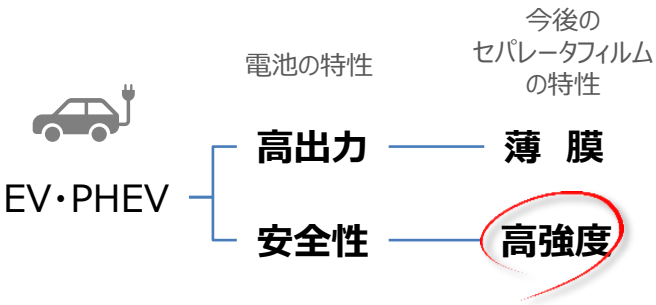
次世代BSFの受注注力

押出

Shibaura Machine

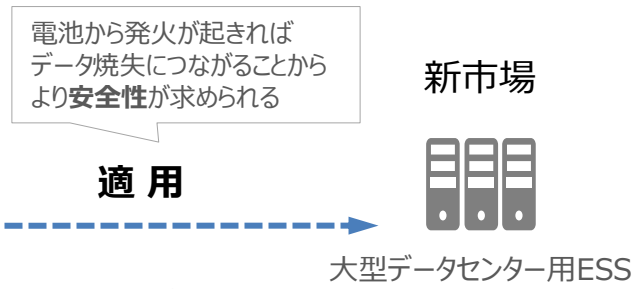
■ 車載電池の市場特性の変化

EV用セパレータフィルムはBSFの**高速・広幅化**による**コスト低減要求**に加え、
今後は更なる 電池の**高出力・安全化**を目的とした**薄膜・高強度が進む**



■ 新市場（ESS）への適応

新市場として、**大型データセンター用ESS**（エネルギー貯蔵システム）向けの**BSF需要伸長**も見込まれる



商品力（次世代BSFの能力）

抽出乾燥装置を含めたフルターンキー対応だけでなく、
薄膜・強度向上のために**高延伸倍率対応**を進め、**他社との更なる差別化**を進めている

次世代セパレータフィルムを生産可能な中国メーカーに
次世代BSFの受注に注力

東アジア・東南アジアのグローバル体制再編 射出

Shibaura Machine

《現在》

中国市場

中国工場

ユーザー

中国資本の流入

東南アジア市場

ユーザー

タイ工場

勢力図の変化

東南アジアで、
中国系自動車メーカーの
進出が顕著

《近い将来》

中国＆東南アジア経済圏

中国工場

ユーザー

タイ工場

同一経済圏に
生産工場が２か所
あるのは**非効率**

射出のグローバル体制を見直し、最大効率化を図る

中長期に取り組む領域

	注力領域
射出	• **システムエンジニアリング**（前後工程） • **インド・アフリカ・欧州・米国**
ﾀﾞｲｶｽﾄ	• **メガキャスト**　（日系自動車メーカーの国内生産対応で、4500tクラスの開発）
押出	• **次世代電池**（ドライ電極、全固体電池） • **エネルギー貯蔵システム**（再生可能エネルギー、データセンター向け） • **先端素材**（CFRTP (航空機素材) ）
工作	• **発電**（タービン） • **航空宇宙、造船** • **国内防衛産業**
精密	• **カメラレンズ、光通信**（大型データセンター向け）、**自動車光学、医療**
制御	• **システムエンジニアリング**（梱包、搬送、組立）

（早期に成果が出るものに限定）

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 **FAX** (03)3509-0336 **URL** : https://www.shibaura-machine.co.jp